

東北自然エネルギー株式会社 湯沢事業所

業種	地熱発電所による電気供給業務	電話番号	0183-72-2146
所在地	湯沢市岡田町2番13号	企業ページはこちら！ 	
事業内容	地熱発電所および地熱蒸気供給設備の運転・保守・管理業務		
問合せ窓口	東北自然エネルギー(株) 本店 総務部 人事労務担当		

上の岱地熱発電所



木地山地熱発電所 完成予想図

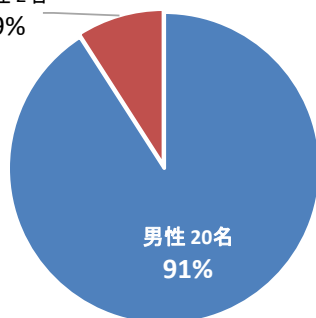


企業基礎データ

従業員数 22 名

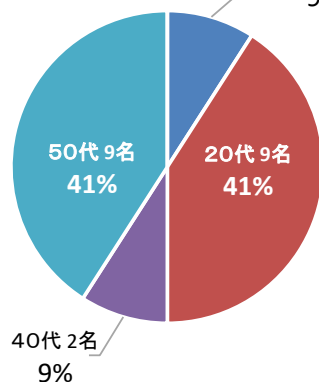
【男女比】

女性 2名
9%



【年代構成】

10代 2名
9%



【出身地】

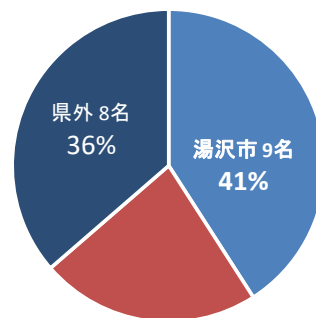
県外 8名

36%

湯沢市 9名

41%

県内(湯沢市以外) 5名
23%



企業PRシート

・どんなことを行う会社か、会社（法人）の魅力、特長

当事業所は湯沢市にある上の岱地熱発電所の運転・保守業務を行っています。主な業務は持続的且つ安定的に電気を供給するため、電気設備および蒸気供給設備の運転監視のほか設備の保守管理業務で、地化学・環境・電気・機械・土木等、様々な分野からなる業務となります。

調査開始から23年の歳月を経て運転開始となった上の岱地熱発電所も今年で32年目を迎えました。先人たちの思いを受継ぎ、所員一同地域の皆様のご理解とご協力に感謝するとともに、『地元とともに自然由来電力を創り育てる』自然由来電力によりライフラインの一翼を担っているという誇りをもって仕事をしています。

また、2024年10月には木地山地熱発電所の建設工事に着手し、2029年の運転開始に向け着々と準備を進めています。

<社員インタビュー>



部署：上の岱蒸気基地運転保守グループ
お名前：佐藤 駿さん（2020年入社）
仕事内容：蒸気供給設備運転・保守、
坑井貯留層管理、木地山地熱発電所建設

Q 仕事を始めたきっかけについて

私の母校では、生徒たちで湯沢市の名産品である「さくらんぼ」を地熱の力で乾燥させたドライフルーツを商品化していました。それが最初の「地熱」について興味を持ったきっかけです。その後大墳湯や川原毛地獄等、市内には地熱を体感できる場所が多く存在していたことを知りました。上の岱地熱発電所の存在を知ったのも高校生になってからでした。

気候変動対策として、世界的に温室効果ガスの排出削減が叫ばれるなかにおいて、再生可能エネルギー事業を展開している会社の魅力を感じ入社を決断しました。

Q 仕事のやりがいについて教えてください

入社直後はできなかったことができるようになったり、先輩が行っていた業務を自分が担当として行えるようになった時にやりがいを感じます。

先輩方に教えていただきながら、電気・機械関係なく幅広く知識を習得できるので、後輩に聞かれても答えられた時などに自分の成長を感じます。

蒸気供給設備である上の岱蒸気基地は泥湯温泉手前の標高600m程に位置しており、冬期は3m近い積雪になります。設備内の除雪作業等大変に思うこともありますが、先輩や後輩達と各種工事や作業を無事故無災害で終えたときなどは何とも言えない達成感を感じます。

保護者の皆さんへ向けたメッセージ

当社は、東北電力企業グループにおける再生可能エネルギー発電事業の中核会社として、東北および新潟県の各地において最大出力278,590キロワットの発電設備（水力発電所：18か所、地熱発電所：5か所）を保有しています。

宮城県仙台市に本店を置き、秋田・岩手・山形・福島の4県に事業所を展開し、湯沢事業所ではこれまで秋田県内からの採用者は18名（定年退職者2名含む）で、今現在11名が当事業所に勤務し、異動により5名が岩手県の雫石事業所で勤務しています（出向者6名、派遣社員1名を除く）。

また、県外（岩手県・福島県）から当事業所に配属された若者たちも4名在籍し、当初は一人暮らしに戸惑いながらも、先輩たちのサポートにより元気に勤務しています。

なお、待遇や福利厚生等につきましては、当社ホームページをご確認ください。

<https://www.tousec.co.jp/>

湯沢地熱株式会社

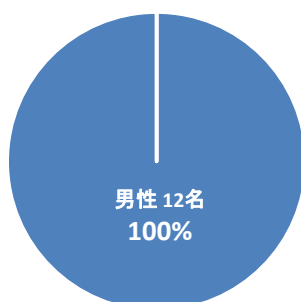
業種	電気供給業	電話番号	0183-55-2555
所在地	湯沢市秋ノ宮字堰ノ口135-4	企業ページはこちら！ 	
事業内容	地熱資源の開発及び供給 ・ 電気供給事業 上記に付帯する一切の事業		
問合せ窓口	総務部		



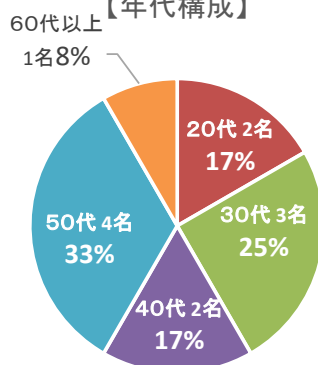
企業基礎データ

従業員数 12 名

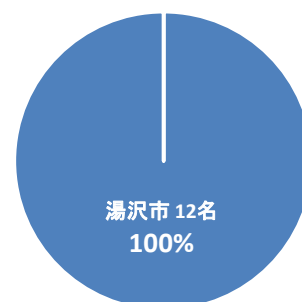
【男女比】



【年代構成】



【居住地】



企業PRシート

・どんなことを行う会社か、会社（法人）の魅力、特長

地下深くに存在する地熱資源（蒸気・熱水）を利用して発電した電気を供給している会社です。

山葵沢地熱発電所は2019年5月、国内では23年ぶりとなる1万kW以上の大規模地熱発電所として運転を開始しました。

現在、国内で3番目の発電出力となっており、当発電所で一般家庭約9万世帯、秋田県で例えると約1/4の世帯数に供給できる電力を発電しています。

再生可能エネルギーの一つである地熱発電は、CO₂排出量が非常に少ないクリーンエネルギーです。天候に左右されず、1日24時間発電量がほぼ一定であることから、ベースロード電源として社会に貢献しています。

<社員インタビュー>



部署：技術部 運転・保守グループ
お名前：田中 智士さん
仕事内容：山葵沢地熱発電所の運転・保守業務

Q 仕事を始めたきっかけについて

国内で注目されている再生可能エネルギーの1つである地熱関係の仕事に携わりたいとの思いがあり、その中でも山葵沢地熱発電所において経験を積みたいとの考えから1年ほど前に湯沢地熱に異動してきました。地熱発電所の運転員として発電所の運転・保守に携わるのは初めての経験となりますが、発電所の設備や運転に関する技術について学びながら実業務に携わることはやりがいがあり、目的意識を持って日々の仕事に取り組んでいます。

Q 仕事のやりがいについて教えてください

私は主に地熱発電所の操業に係る各種モニタリングや、地下から蒸気や熱水を生産したり還元する坑井設備の保守・運用、坑井の調査、薬品の管理等の業務を担当しております。

自然（地下）が相手の仕事なのでそれ故の難しさはありますが、発電所の運転を担う技術部の一員として、日々のパトロールや設備の保守管理、工事管理等を通して専門的な技術や知識を身に付け、それを実際の業務に活かすことができた際にはやりがいを感じます。

保護者の皆さんへ向けたメッセージ

私たちは「地熱のまちゆざわ」を象徴する地熱発電所として、皆様の生活に欠かすことのできない電気を供給しています。

当社は様々な専門的分野を持つ最少人数で発電所を運営していることから、現在在籍している社員の多くは湯沢地熱(株)の親会社であるJ-POWER、三菱マテリアル、三菱ガス化学からの出向者で構成されておりますが、当社の事業は地域の皆様のご理解や地元を含む多くの会社のご協力によって支えられています。この機会に少しでも地熱発電や湯沢地熱に興味を持っていただければ幸いです。